

みなみそうま
南相馬市 (福島県)

100年のまちづくり
～家族や友人とともに暮らし続けるために～

東日本大震災から10年

あの日・いま・みらい

東日本大震災から10年が過ぎました。
甚大な被害を乗り越え、人々は歩み続けています。
復興から創生へと向かう、被災地の今をお伝えします。



研究開発拠点・福島ロボットテストフィールド



南相馬市長
もんまかずお
門馬和夫

震災後のご支援にあらためて感謝申し上げます。

地震、津波、原発事故は、ふるさとの何気ない日常を奪いました。震災関連死を含めると、南相馬市の犠牲者は1,156名に上り、いまだ4,000人を超える方々が市外へ避難されています。避難指示の線引きにより地域が分断された本市では、復興が進むにつれ、課題が多様化・複雑化しています。

しかし、この地には、230年前の「天明の大飢饉^{ききん}」を移住農民の招致により乗り越え、「報徳仕法」で再興を果たした先人たちの歴史が息づいています。

福島復興の切り札となる国家プロジェクト「福島イノベーション・コースト構想」に基づき、本市に整備された「福島ロボットテストフィールド」を生かして人材誘導に向けた取り組みに力を入れるなど、この地で何代も営みが続く持続可能な「100年のまちづくり」に取り組んでまいります。

次号は宮城県名取市です